

タカワレポート

第61期 期末報告

平成18年 1 月 1 日

▼
平成18年12月31日





家庭に、企業に、都市の中に。
次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。
インテリア産業の一翼を担う企業として、
これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成18年12月31日をもって第61期(平成18年1月1日から平成18年12月31日まで)が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成19年3月

CONTENTS

経営者から皆様へ	2
営業の概況(連結)	3
グループ(連結会社)の事業展開	5
連結財務諸表(要旨)	7
単体財務諸表(要旨)	8
TOPICS	9
新製品のご紹介	11
製品紹介	13
ショールームのご案内	14
まめ知識	15
IRサイトのご案内	16
会社の概要	17
株式情報	18
株式についてのご案内	

営業の概況(連結)

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が増加し、雇用情勢にも改善がみられるなど、景気は緩やかながら回復傾向でありましたが、個人消費の伸び悩みや原油・素材価格の高止まり等の不安要因が残りました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、民間設備投資は堅調であるものの、公共投資は依然低調であり、住宅着工についても総じて増加傾向ながら戸建住宅は横ばい傾向であるなど、楽観できない状況で推移しました。

また、立体駐車場業界においては、依然として受注獲得に向けた価格競争や鋼材等主要原材料の高騰が続くなど厳しい状況でありましたが、設備更新案件が増加傾向にあるなど受注環境に改善の兆しが見え始めました。また、減速機業界においても、企業の旺盛な設備投資や生産活動の伸びに支えられ、産業機械関連を中心に堅調に推移しました。

このような環境の下、室内外装品関連事業では、一部主力製品のリニューアルや既存製品の機能追加などを行い、全国で商品発表会を開催するなどの販促策にも力を入れてまいりました。さらに、コスト低減活動に取り組む一方で、一部製品の価格改定を行うなどの施策を講じてまいりました。

駐車場装置関連事業およびその他事業においても、顧客要求に応えられる独自の製品開発や採算性を重視した受注案件の選択を徹底し、経営資源の最適配置による収益基盤の構築に取り組むとともに、積極的な提案型営業を推進し受注確保に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は42,401百万円(前期比1.1%増)、営業利益は1,437百万円(前期比20.4%減)、経常利益は1,510百万円(前期比20.0%減)、当期純利益は539百万円(前期比45.8%減)となりました。

なお、事業の種類別セグメントごとの営業の概況は次のとおりであります。

■ 室内外装品関連事業

主力製品である「ロールスクリーン」に生地のパリエーション拡充や新機能を追加するなど全面リニューアルを行い、全国43ヶ所で商品発表会を開催するなど市場浸透へ向けた販売店支援にも力を入れてまいりました。また、間仕切の「アコーデオンカーテン」

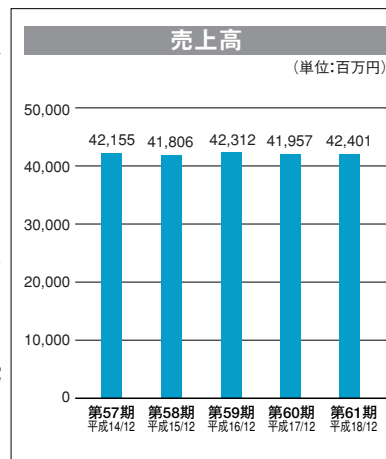
などにバリアフリーの機能追加を行うとともに、横型ブラインド「アフタービート」「フォレティア」のリニューアルや、カーテンレールに新アイテムを追加するなど、顧客の視点に立った使い易い製品の充実にも努めてまいりました。さらに、材料費や物流費などのコスト低減活動にも積極的に取り組む一方で、アルミ等原材料価格の上昇に対応するため一部製品の価格改定を行いました。売上高は、今期リニューアルした「ロールスクリーン」のほか、「シルキー」や「ラインドレープ」、カーテンレール等が好調で36,811百万円(前期比0.4%増)となりました。一方、カタログ・サンプル帳など販促物の積極的な投入もあり、営業利益は1,287百万円(前期比25.9%減)となりました。

■ 駐車場装置関連事業

価格競争の激化など厳しい受注環境でありましたが、主力製品であるパズルタワーの完工物件が増加し、保守点検業務にも力を注いだ結果、売上高は2,376百万円(前期比15.6%増)となりました。営業利益は、低価格化の流れが続くなか選別受注活動の徹底により採算性が向上し88百万円(前期は23百万円の損失)となりました。

■ その他事業

高まる高機能化の要求に応えるため、標準品の機種を拡大したほか、顧客オリジナル製品の開発や展示会出展など産業機械向け販売を中心に積極的な営業活動を展開しましたが、売上高は3,214百万円(前期比0.9%減)となりました。一方、営業利益は、コスト削減に努めましたが原材料の価格高騰が影響し62百万円(前期比32.3%減)となりました。



今後の見通しとしては、国内経済につきましては企業収益の改善が進み、引き続き景気の回復が見込まれるものの、原材料価格や住宅着工の動向等、当社グループを取り巻く環境は、依然不透明な状況が続くものと思われまます。

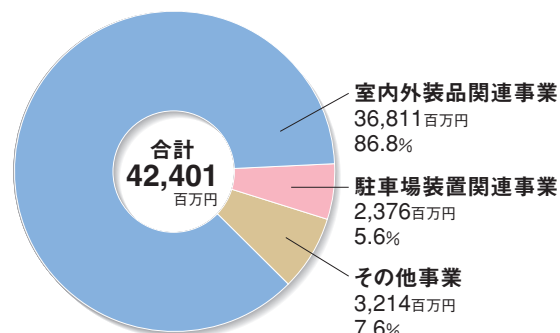
当社グループといたしましては、収益力強化のため投資、費用投下に際しての効果を十分検討するとともに、経費削減や業務効率化のための組織機能の最適化を推し進めてまいります。また、より快適かつ機能的な生活空間の提供や、環境負荷の低減にも積極的に取り組むなど社会に貢献してまいります。

室内外装品関連事業においては、活性化が求められるインテリア市場にあって、ユーザーのニーズをいち早く捉えた製品の拡充、改良に取り組むとともに、主力製品を軸にユーザーを見据えた販促活動により需要を創造しシェア拡大に努めてまいります。また、ビル市場においては、リニューアル物件獲得のためのきめ細かな営業活動を強化いたします。更に、中国市場におきましても引き続き当社製品の認知度を高め、販売チャネルの拡大により経営基盤の確立を図る所存であります。

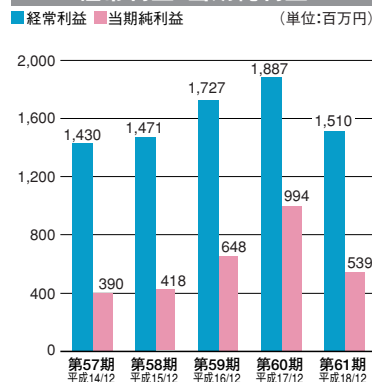
駐車場装置関連事業においては、収益性重視のもと主力製品のパズルタワーの特徴である「ハイスピード、低騒音、耐震性」の強みを活かした選別受注や、違法駐車対策やバリアフリーの要求に対応した市場開発に努め、その他事業においても、高機能化の要求に適合した開発力を強化し、顧客オリジナル製品の開発など積極的な提案型営業を展開してまいります。

以上のように、当社グループは、常にお客様に信頼され支持していただける事業の構築に向けて邁進してまいります。

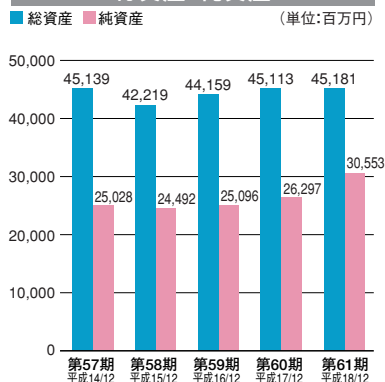
連結セグメント別売上高構成比



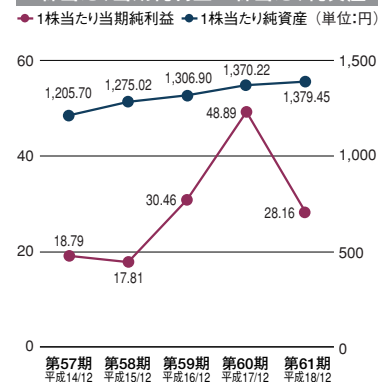
経常利益・当期純利益



総資産・純資産



1株当たり当期純利益・1株当たり純資産



グループ(連結会社)の事業展開

経営の基本方針

当社グループは、建築物の開口部、とりわけ窓まわり製品を事業の核とする建築内装品の総合メーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術、動力伝導技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、顧客の皆様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、一般消費者、取引先ならびに株主の皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

事業展開の課題

- ブラインド群等の主力製品の強化と継続的な新製品開発に傾注する。
- ホームユース市場における製品の拡充と市場浸透を図る。
- カーテンレール事業に関して、全般的なクオリティーの向上を推進する。
- 機械式立体駐車装置の製造・販売に加え、メンテナンス事業を強化する。
- コスト低減活動を推進し、工場等の体質革新を行い収益向上を図る。
- 製品の品質、安全性はもとより、多様化するニーズや高齢化社会への対応、環境への配慮など、継続的顧客満足を追求する。
- グループ全体の経営資源の効果的な投下と経営の迅速化を図る。

主な取扱製品

室内外装品関連事業

ブラインド、間仕切、カーテンレール、内装工事



駐車場装置関連事業

機械式立体駐車装置



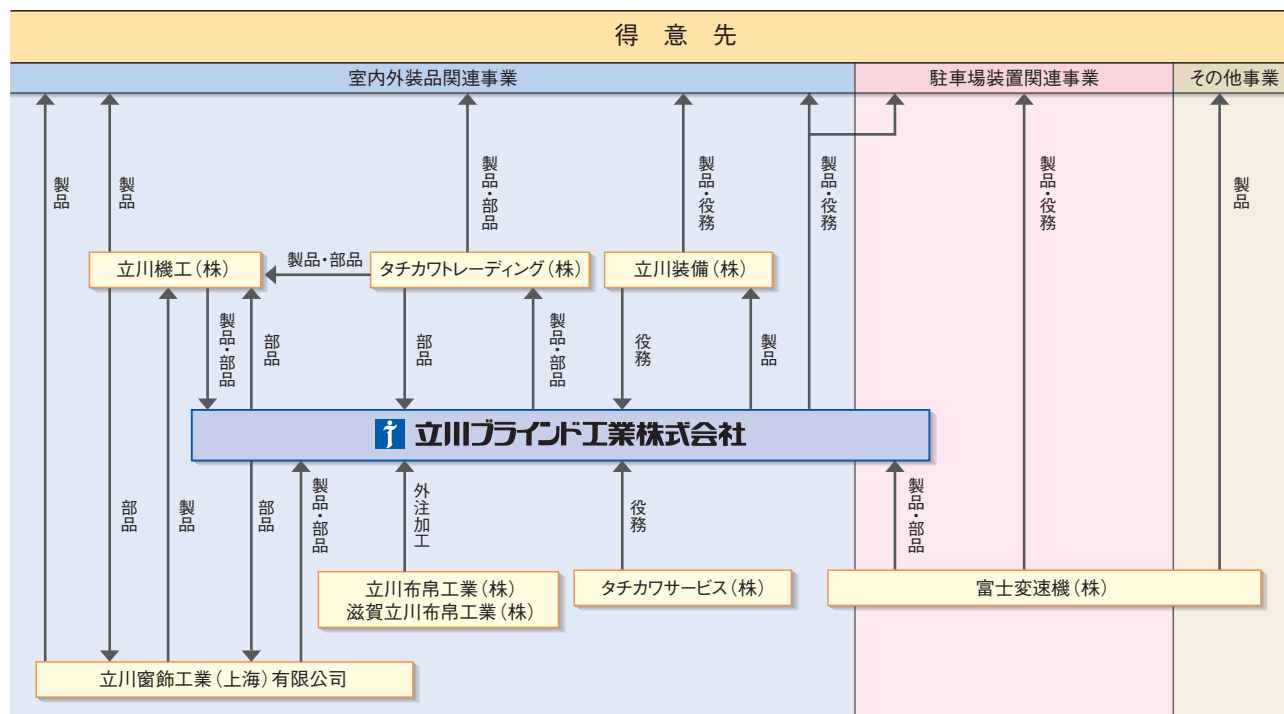
その他事業

減速機



当社グループ(連結会社)は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、更に各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

事業の系統図



(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

主なグループ会社

<p>立川機工株式会社</p> <p>本社所在地 千葉県山武市 資本金 3億円 事業内容 ブラインド、間仕切等の部品およびカーテンレールの製造販売</p>	<p>立川装備株式会社</p> <p>本社所在地 東京都渋谷区 資本金 3億円 事業内容 ブラインド、間仕切等の取付工事および関連製品の販売</p>	<p>富士変速機株式会社</p> <p>本社所在地 岐阜県岐阜市 資本金 25億750万円 事業内容 変速機、減速機、立体駐車装置および間仕切の製造販売</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期		前期	
	平成18年12月31日現在		平成17年12月31日現在	
資産の部				
流動資産	27,392,275	26,898,516		
固定資産	17,789,009	18,214,689		
資産合計	45,181,285	45,113,205		
負債の部				
流動負債	10,925,099	10,887,361		
固定負債	3,702,968	3,742,567		
負債合計	14,628,067	14,629,929		
少数株主持分	—	4,185,400		
資本の部				
資本金	—	4,475,000		
資本剰余金	—	4,395,212		
利益剰余金	—	17,486,975		
その他有価証券評価差額金	—	778,675		
為替換算調整勘定	—	△ 12,175		
自己株式	—	△ 825,812		
資本合計	—	26,297,875		
負債・少数株主持分及び資本合計	—	45,113,205		
純資産の部				
資本金	4,475,000	—		
資本剰余金	4,395,253	—		
利益剰余金	17,766,841	—		
自己株式	△ 828,807	—		
株主資本合計	25,808,286	—		
評価・換算差額等	603,161	—		
少数株主持分	4,141,769	—		
純資産合計	30,553,217	—		
負債・純資産合計	45,181,285	—		

(注)平成18年度から、会計基準の変更により、純資産の部には少数株主持分等を含めて表示しております。

連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期		前期	
	平成18年1月1日から平成18年12月31日まで		平成17年1月1日から平成17年12月31日まで	
売上高	42,401,407	41,957,164		
売上原価	24,998,502	24,717,636		
売上総利益	17,402,905	17,239,528		
販売費及び一般管理費	15,965,493	15,433,745		
営業利益	1,437,412	1,805,783		
営業外収益	213,538	232,402		
営業外費用	139,994	150,348		
経常利益	1,510,956	1,887,837		
特別利益	18,732	1,080,059		
特別損失	121,242	901,794		
税金等調整前当期純利益	1,408,445	2,066,103		
法人税、住民税及び事業税	858,385	856,344		
法人税等調整額	△ 25,584	177,679		
少数株主利益	36,421	37,721		
当期純利益	539,223	994,357		

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期		前期	
	平成18年1月1日から平成18年12月31日まで		平成17年1月1日から平成17年12月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	888,870	1,405,197		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 577,997	△ 1,411,519		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 342,034	△ 218,215		
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,957	25		
現金及び現金同等物の減少額	△ 29,204	△ 224,512		
現金及び現金同等物の期首残高	6,102,706	6,327,218		
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 64,746	—		
現金及び現金同等物の期末残高	6,008,755	6,102,706		

連結株主資本等変動計算書 (平成18年1月1日から平成18年12月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成17年12月31日残高	4,475,000	4,395,212	17,486,975	△ 825,812	25,531,375	778,675	—	△ 12,175	766,500	4,185,400	30,483,276
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 191,492		△ 191,492						△ 191,492
役員賞与			△ 57,549		△ 57,549						△ 57,549
当期純利益			539,223		539,223						539,223
自己株式の取得				△ 3,045	△ 3,045						△ 3,045
自己株式の処分		40		50	91						91
連結子会社の減少による利益剰余金の減少額			△ 10,315		△ 10,315						△ 10,315
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△ 170,185	4,009	2,837	△ 163,338	△ 43,631	△ 206,970
連結会計年度中の変動額合計	—	40	279,865	△ 2,994	276,911	△ 170,185	4,009	2,837	△ 163,338	△ 43,631	69,940
平成18年12月31日残高	4,475,000	4,395,253	17,766,841	△ 828,807	25,808,286	608,489	4,009	△ 9,337	603,161	4,141,769	30,553,217

単体財務諸表(要旨)

貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期	前期
	平成18年12月31日現在	平成17年12月31日現在
資産の部		
流動資産	18,947,911	18,441,125
固定資産	14,248,572	14,469,450
資産合計	33,196,483	32,910,576
負債の部		
流動負債	9,250,906	9,085,209
固定負債	3,270,829	3,208,324
負債合計	12,521,735	12,293,534
資本の部		
資本金	—	4,475,000
資本剰余金	—	4,395,212
利益剰余金	—	11,927,817
その他有価証券評価差額金	—	644,824
自己株式	—	△ 825,812
資本合計	—	20,617,041
負債・資本合計	—	32,910,576
純資産の部		
資本金	4,475,000	—
資本剰余金	4,395,253	—
利益剰余金	12,117,078	—
自己株式	△ 828,807	—
株主資本合計	20,158,524	—
評価・換算差額等	516,224	—
純資産合計	20,674,748	—
負債・純資産合計	33,196,483	—

損益計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	平成18年1月1日から平成18年12月31日まで	平成17年1月1日から平成17年12月31日まで
売上高	35,166,022	35,032,208
売上原価	20,388,521	20,458,456
売上総利益	14,777,500	14,573,751
販売費及び一般管理費	14,034,876	13,482,154
営業利益	742,624	1,091,597
営業外収益	430,976	405,605
営業外費用	172,937	179,281
経常利益	1,000,662	1,317,921
特別利益	6,590	1,061,043
特別損失	87,187	1,092,008
税引前当期純利益	920,065	1,286,956
法人税、住民税及び事業税	542,111	565,465
法人税等調整額	△ 36,270	136,204
当期純利益	414,223	585,286
前期繰越利益	—	244,098
中間配当額	—	95,756
当期末処分利益	—	733,628

株主資本等変動計算書 (平成18年1月1日から平成18年12月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本						評価・換算差額等	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金				
平成17年12月31日残高	4,475,000	4,395,000	212	464,073	11,463,744	△ 825,812	19,972,217	644,824	20,617,041
事業年度中の変動額									
剰余金の配当					△ 191,492		△ 191,492		△ 191,492
役員賞与金					△ 33,470		△ 33,470		△ 33,470
当期純利益					414,223		414,223		414,223
自己株式の取得						△ 3,045	△ 3,045		△ 3,045
自己株式の処分			40			50	91		91
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)								△ 128,600	△ 128,600
事業年度中の変動額合計	—	—	40	—	189,261	△ 2,994	186,306	△ 128,600	57,706
平成18年12月31日残高	4,475,000	4,395,000	253	464,073	11,653,005	△ 828,807	20,158,524	516,224	20,674,748

■「ロールスクリーン 竹スタレシリーズ」は「新日本様式」100選に選ばれました。

昨年1月に「新日本様式」協議会が発足され、世界に日本の伝統文化を再提言し、現代の生活にふさわしいかたちを創ろうという取り組みの下、昨年10月に「新日本様式」100選の選定がありました。その結果、多数の応募・推薦の中から、当社の「ロールスクリーン 竹スタレシリーズ」が選定されました。

「竹スタレシリーズ」は、素材に竹を使った生地ラインナップで、「ロールスクリーン」、「クリアス ローマンシェード」の2製品で展開しています。「和(なごみ)」、「縁(ゆかり)」、「極(きわみ)」、「宴(うたげ)」、「匠(たくみ)」、「彩(いろどり)」、「響(ひびき)」、「庵(いおり)」の計8柄23アイテムを取り揃え、和室や現代風にアレンジした和空間の窓辺や間仕切に最適な製品です。

「新日本様式」100選では、日本伝統の空間演出のひとつである簾(スタレ)を現代に活かしている製品として、高い評価をいただきました。

なお、今年3月にはフランス・パリで「新日本様式」の展示会が開催され、「TAKESUDARE」として世界に情報発信されています。



■「第25回 JAPANTEX2006」に出展しました。



昨年11月下旬に「インテリアトレンドショー第25回 JAPANTEX2006」（於・東京ビッグサイト）が開催され、当社も出展しました。

当社では「Modern Wave」をテーマとした5つ（スタイリッシュ〈洗練〉、コンフォート〈上質〉、ナチュラルモダン〈自然〉、和モダン、オーセンティック〈伝統〉）のモデルルームコーナー、「2006年新製品コーナー」、「第8回 ブラインドカラーコーディネートコンテスト受賞作品コーナー」、「新日本様式100選に選ばれたロールスクリーン 竹スダレシリーズコーナー」の4構成にて行いました。

新製品コーナーでは、お客様の参考となるように1つの空間で天井付け、正面付けなど、展示方法を工夫しました。中でも注目を集めたアフタービートの「マジカルカラー」は、偏光塗料でコーティングされたスラット（羽根）を使用し、見る角度や光の当たり方によって、様々な色彩の表情が変わる業界初の偏光色ブラインドで、訪れたお客様から高い評価をいただくことができました。

なお、最終日には「第8回 ブラインドカラーコーディネートコンテスト」の受賞者インタビューと表彰式も開催しました。



新製品のご紹介

「ロールスクリーン」をリニューアル新発売

昨年5月と今年2月に、「ロールスクリーン」をリニューアル新発売しました。

「ロールスクリーン」は、生地がロール状に巻き上がるファブリック製品で、昇降することにより、採光や調光、遮光等ができ、インテリア性にも富んだ製品です。

昨年5月のリニューアルでは、素材にこだわったこれまでにない新感覚のデザイン生地やワイドサッシも1台で取付け可能な広幅な生地等、さらにバリエーションを充実させました。生地性能においても紫外線が当たることで「ホルムアルデヒド分解」・「消臭」・

「抗菌」の効果が得られる生地を積極的に使用し、人にやさしい空間をつくっています。

機構部では、操作がシンプルな「プルコード式」をダブルタイプへ追加したり、部品色を3色から5色に増やし、サイドブラケットカバーを追加する等、よりインテリアへのマッチングを重視した商品になっています。

また、今年2月にはTopics(トピックス)にも掲載しています「新日本様式」100選に選ばれた『竹スグレ』等に新柄を追加し、5シリーズ・全116柄・412アイテムと、堂々の生地ラインナップとなりました。



センシティブライド「アフタービート」を リニューアル新発売

昨年10月にセンシティブライド「アフタービート」を全面リニューアル新発売しました。

「アフタービート」は、スラット(羽根)の**アルミ**、バランス(窓の上部の飾り)やボトムレール等の**木部材**、ラダーテープの**ファブリック**の3つの素材を組み合わせた製品です。

“よりモダンに、よりスタイリッシュに”をテーマにラインナップの強化を図り、既存の「アーバンモダンシリーズ」、「ナチュラルモダンシリーズ」、「カラフルポップシリーズ」のほか、新たに「クールモダンシリーズ」、「シックモダンシリーズ」を加えて、5シリーズ・全34色をラインナップしました。また、ラダーテープの色柄に新色19色を加え全26色に一新したほか、バランス等の木部材には、新たに2種類のデザインを追加して3種類・全17色となりました。

さらに、従来の50mm幅のスラットのほか、35mm幅が新たに加わり、窓の大きさに合わせて、選ぶことができるようになりました。



木製ブラインド「フォレティア」をリニューアル新発売

昨年10月に木製ブラインド「フォレティア」を一新し、リニューアル新発売しました。

「フォレティア」は、スラット(羽根)に木の質感が十分に楽しめるよう、天然木の一枚板を使用した製品です。

ブラインドの印象を決めるスラットのカラーは、現在のトレンドやライフスタイルを踏まえ、ホワイトを中心としたハイコントラストな「スタイリッシュ〈洗練〉」、ダーク系の落ち着いた風合いの「コンフォート〈上質〉」、シンプルでやさしい感じの「ナチュラルモダン〈自然〉」、トラディショナルな色合いの「オーセンティック〈伝統〉」の4シリーズ・全17色をラインナップしました。また、ラダーテープの色柄に新色19色を加え全26色にしたほか、空間演出のオプションアイテムであるバランス(窓の上部の飾り)は2種類のデザインを追加して3種類・全17色となりました。

機構部では、1本のコードでスラットの開閉および昇降ができるループ式に、取付けが簡単な「ワンタッチブラケット」を採用し、施工性が格段に向上しました。

さらに、35mm幅スラットにボール式も加わって、小さな窓にもより使いやすくなりました。

製品紹介

<p>ヨコ型 ブラインド</p>								
	シルキーアクア	シルキーカーテンアクア	シルキー	シルキーカーテン	出窓タイプ	ナンシスタイプ	セブレートタイプ	
	変形タイプ	ファンシーブラインド	カラーコーディネートタイプ	木製ブラインドフォレティア	木製ブラインドフォレティアエコ	アフタービート	モノコム25・35・50	VSブラッキー
				<p>タテ型 ブラインド</p>			<p>ファブリック 製品</p>	
モノタッチ25・35	ツインティスL25・35x20	ルミスター50・80	エクステリアブラインドコンホルト		パチカルブラインドM50・80・100	ローリーESV80・100		
ロールスクリーン	ロールスクリーン電動α静音タイプ	パネルスクリーン	クレアスローマンシェード	クレアスパネルカーテン	クレアカーテン	経木スタレ	竹スタレ	
			<p>天窓・ 傾斜窓用</p>				<p>間仕切</p>	
プリーツスクリーン「ベルレ25」	プリーツスクリーン「ベルレ15」	ラインドレープ		シルキー傾斜タイプ	シルキー天窓タイプ	ロールスクリーン傾斜窓タイプ		
パネル間仕切プレス下荷重タイプ	パネル間仕切プレスフラットガレールタイプ	パネル間仕切プレス引戸仕様	アズウッドペアパネルタイプ	アズウッド連結パネルタイプ	アズウッドシングルパネルタイプ	アコウォール	アコーデオンカーテン	
				<p>カーテン レール</p>				
アコーデオンスクリーン	スライディングドア100	スライディングドア50	スライディングドア50L		装飾カーテンレール	一般カーテンレール		

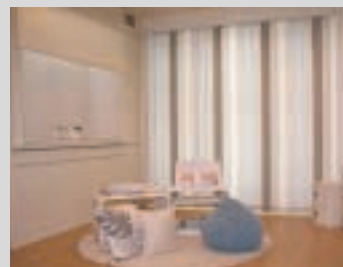
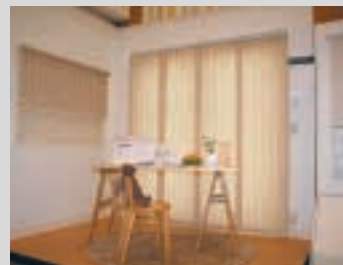
この他にも様々な製品・タイプを取り揃えております。

ショールームのご案内

G I N Z A 銀座 シ ョ ー ル ー ム

JR新橋駅の近く、銀座中央通り沿いにあるタチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足いただけるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。

東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル
TEL (03) 3571-1373
定休日 日曜・月曜・祝祭日
営業時間 10:00~18:00



ディスプレイ

タチカワブラインドがおすすめするアイテムやコーディネートのご紹介をしています。



ショーイング

製品や生地の実物サンプルを豊富にご用意しています。また、テストングウィンドウでは製品に太陽光を通したときの印象をご覧いただけます。お気軽にお声をおかけください。



コンサルティング



テストングウィンドウ

ショールーム一覧

タチカワブラインドでは、インテリアや窓辺を楽しくセンスアップするためのアイテムを取り揃えて、いつでも皆様をお待ちしています。

仙台ショールーム	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 TEL (022) 275-1311 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00	大阪ショールーム *	大阪府大阪市中央区南船場4-6-17 2F TEL (06) 6881-1781 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 9:00~17:30
名古屋ショールーム	愛知県名古屋市中区栄3-4-4 3F TEL (052) 532-5085 定休日 日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00	高松ショールーム	香川県高松市木太町六区2662-1 TEL (087) 837-2720 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
金沢ショールーム	石川県金沢市東力4-181 TEL (076) 291-1146 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00		

*大阪ショールームには常駐スタッフはおりませんので、ご案内・ご説明が必要な際は事前にご予約ください。

ブラインドの あんなこと・こんなこと

ブラインドって、身近なようで、
今まであまり使ったことがなかった。
私の部屋にはどうかな？
ブラインドのこと、もっともっと知りたいな。



当社製品の「名前の由来」

表紙の〈センシントブラインド “アフタービート”〉

“センシント”とは、「感覚の鋭い、感性のある」という意味で、新感覚のブラインドであることを表現しています。アルミ、木部材、ファブリックの3つの素材が「セッションする」という製品の特徴のほか、“都会的” “洗練” “感性” などキーコンセプトが重なり合って、4拍子の2拍目と4拍目にアクセントを置くJazz独特のリズムである「アフタービート」に由来しています。

12ページ(新製品のご紹介)掲載の〈木製ブラインド “フォレティア”〉

タチカワブラインドがご提案するアメリカンテイストの木製ブラインドということで、「forest」、「tachikawa」、「interior」、「american taste」の4つのキーワードを組み合わせた造語です。



IRサイトのご案内

当社ホームページでは株主や投資家の皆様に対する情報発信の場として、トップページからのアクセスが可能な「IR情報」を掲載しています。

「IR情報」では、最近の決算関連リリースや過去の決算資料の検索ができるほか、株主名簿管理人や株価情報サイトへのリンクなど、ホームページをご利用いただく方の利便性を重視した内容となっております。

<http://www.blind.co.jp/irinfo/ir/index.html>



トップページ

IR情報/トップページ



IR INFO

主要な業績指標の推移 (単位: 百万円)

項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
売上高	42,280	43,739	44,009	45,713	47,937
営業利益	8,630	9,871	8,776	10,660	11,210
経常利益	1,270	1,487	1,900	1,290	1,810
利益剰余金	1,400	1,280	4,271	1,127	1,687
総資産	1,770	150	0	440	150
総負債	40,790	40,790	40,790	44,790	46,127
総資産	1,670	20,220	29,490	20,490	20,270
総負債	500	500	500	500	500
EPS	-	1.49	4.7	4.0	5.0
株主1人当たり純利益	4,100	4,100	11,100	10,400	14,100
株主1人当たり純利益	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
株主1人当たり純利益	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

IR情報/財務ハイライト

会社の概要

会社概要 (平成18年12月31日現在)

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業(般-17)第5037号 建具工事業(般-17)第5037号 機械器具設置工事業(般-17)第5037号 建築工事業(特-17)第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話	(03) 5484-6100 (大代表)
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,208名 単体831名 (パート・契約社員等を除く)

営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン(横型)ブラインド、 パーチカル(縦型)ブラインド、 天窓用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーディオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、取付工事、その他

連結会社

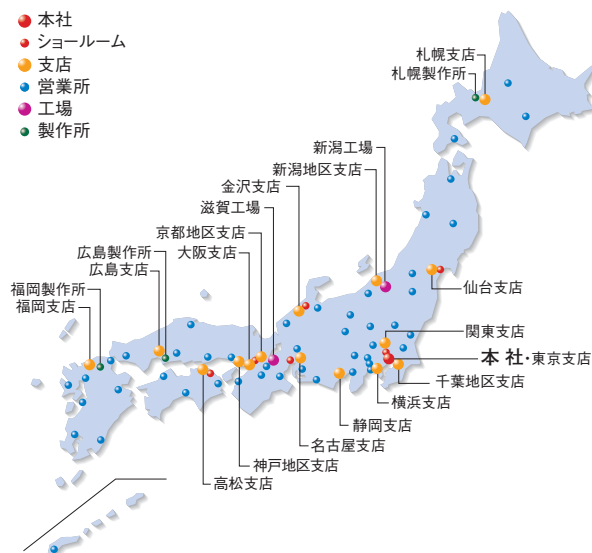
国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市中洲町18	タチカワサービス株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社 千葉県山武市松ヶ谷口2687	タチカワトレーディング株式会社 東京都中央区銀座8-8-15
立川装備株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市今泉709-1	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県東近江市中里町470	立川窗飾工業(上海)有限公司 上海市嘉定区葉城路1211

取締役および監査役 (平成19年3月29日現在)

代表取締役社長	立川 光 威
常務取締役	中嶋 毅
取締役	國米 利 政
取締役	東澤 章 一
取締役	木田 敏 雄
取締役	竹中 伸 也
取締役	阿保 晴 也
常勤監査役	細川 博
※監査役	高後 元 彦
※監査役	坪井 節 子
※監査役	守内 禎 誼

(注) ※印の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

当社ネットワーク



株式情報

株式の状況 (平成18年12月31日現在)

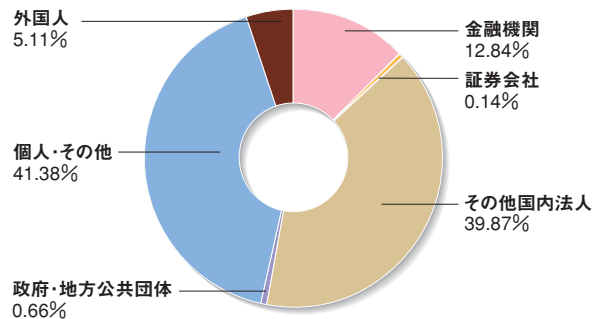
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	6,372名

大株主および持株数(上位10名)

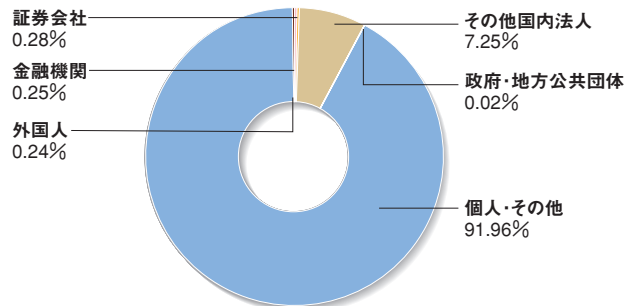
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	21.59
タチカワブラインド取引先持株会	1,791	9.40
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.98
立川 溥	566	2.97
株式会社みずほコーポレート銀行	532	2.79
タチカワ社員持株会	507	2.66
三菱商事株式会社	470	2.47
株式会社りそな銀行	460	2.42
日本生命保険相互会社	415	2.18
ロンバード オーディエ ダリエ ヘンチ アンド シー	385	2.02

(注)1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式1,617千株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

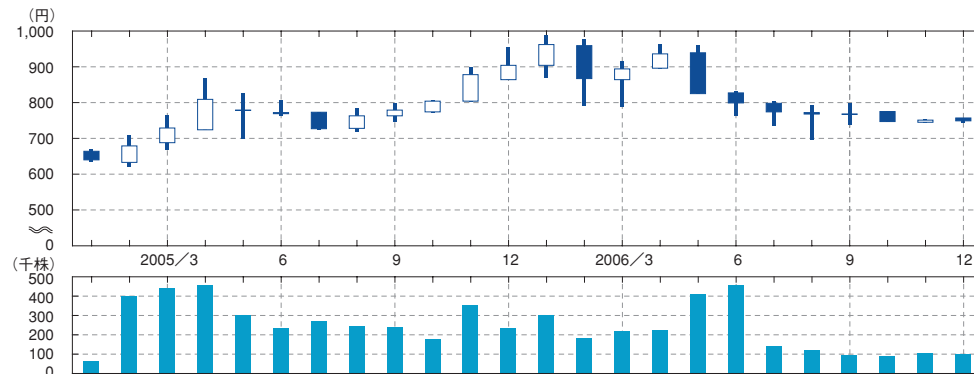
所有者別持株比率



所有者別株主比率



株価および出来高の推移



株式についてのご案内

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会 基準日	12月31日
剰余金配当 基準日	12月31日(期末配当) 6月30日(中間配当)
公告方法	電子公告によります。 公告掲載URL http://www.blind.co.jp/koukoku/ ※事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 代理人部
同 取 次 所	日本証券代行株式会社各支店
単 元 株 式 数	100株
単元未満株式の買取 増請求受付場所	株主名簿管理人事務取扱場所および同取次所がお取扱いいたします。

住所等の変更手続について

住所、氏名、届出印、配当金の振込口座などの変更は、日本証券代行(株)代理人部へご連絡ください。証券保管振替制度を利用され、お手元に株券がない方はお取引証券会社にお申し出ください。

配当金の受取について

配当金郵便振替支払通知書をお近くの郵便局へお持ちください。なお、郵便局での取扱期間を経過したものについては、日本証券代行(株)代理人部でお取扱いいたします。また、今後銀行振込をご希望の方は、日本証券代行(株)代理人部へ「配当金振込指定書」をご請求ください。

(郵便物送付先) お問い合わせ先

〒137-8650
東京都江東区塩浜二丁目8番18号
(住所変更等用紙のご請求)
☎0120-707-842 (自動音声応答サービス受付/24時間)
(その他のご照会)
☎0120-707-843 (オペレーター受付/平日9時～17時)

株式お手続き用紙のご請求をインターネットでも受付しております。

ホームページアドレス
<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)
※「お手続き用紙のご請求」をご参照願います。
※証券保管振替制度をご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会ください。